



No.368

編集発行人 中西三洋  
治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟

〒113-0034 東京都  
文京区湯島2-4-4  
平和と労働センター・全労連  
会館  
電話 03(5842)6461  
FAX 03(5842)6462  
振替 00110 6 97793  
定価 50円

## 憲法9条を高くかかげ、 戦争勢力を包囲しよう

今年(2005年)は第二次大戦終結六〇周年、治安維持法廃止六〇周年の節目の年です。

あの侵略戦争で昭和天皇、ヒトラー、ムッソリーニのファシズム三国は、数千万人の生命を奪い、日本でも三百十万人、中国、アジア諸国で二千万人が犠牲となりました。

戦前日本では、この侵略戦争に反対した数十万の人々は治安維持法で逮捕され、残酷な拷問・虐待を受け、小林多喜二など虐殺され獄死した人々は千七百名余りにも及びました。しかし政府は謝罪も賠償もしていません。戦後、これらの犠牲を再びくりかえさない決意の下に平和、民主の日本国憲法が制定され、世界では平和を求める国連憲章がうち立てられました。

しかし今日、小泉自公政権は、靖国参拝、日の丸・君が代強制など侵略戦争美化論をふりまきつつ、自衛隊の海外派兵、憲法九条改悪、愛国心教育、天皇元首化、戦争する国づくりにもむけて暴走しつづつあります。

これに対し、良識ある日本国民は、「九条の会」のよびかけにこたえ、二一世紀にこそ世界に誇る日本国憲法を高くかかげようと立ち上ってきています。これに呼応して、自衛隊はイラクから撤退せよ、事前検閲・ビラまき弾圧反対、消費税大増税許すなど叫びもわき上ってきています。

今こそ同盟出番のときです。憲法九条を高くかかげ、改憲派と戦争勢力を包囲して、五月国会請願を成功させ、五〇万署名達成、犠牲者顕彰、一万六千同盟会員拡大めざし頑張りましょう。

### 主 な 記 事

新春中央理事会	2
顕彰碑/新潟県・寒川道夫・大関松三郎	4
時の焦点/つくる会元副会長を皇教育委員に埼玉	5
抵抗の群像/戦時下京都留学中に獄死した尹東柱	5
同盟歌壇/碓田のぼる選	6
書棚/「戦後の特高官僚」	7
記録映画「時代を撃て・多喜二」	7
	8

# 五月国会請願と七月全国大会成功をめざす当面の活動方針

一月二十日 新春中央理事会

中央理事会は開会冒頭、病氣療養中の中西三洋会長に代り、高嶋信敏副会長があいさつ、議長に神戸照副会長を選出。斉藤邦雄事務局長の「報告と提案」を受けて討議しました。討議は終戦60周年、治安維持法廃止60周年の節目の年にふさわしい活気あるもので、改憲戦争勢力と対決し、五〇万署名など同盟独自の当面の活動方針を決定しました。討論に先立って松崎濱子顧問があいさつしました。理事会はNHK放送干渉問題で「抗議声明」を採択しました。

## (一) 謝罪と賠償を要求する活動

### ① 必ず五〇万署名の達成へ

(イ) 5月10日に国会請願を行う。  
 1月1日現在の署名数は11万余で目標の23%。秋田では90%を越え、長野、青森などは40%をこすなど10数県で前進しているが、全体としては立おくれしている。

(ロ) 「九条の会」の呼びかけに応える活動が改憲阻止の流れを作りつつある。同盟は運動と署名の先頭に立つ。

(ハ) 同盟中央作成の署名推進リーフを積極的に活用する。

(ニ) 各地方本部は五月までの残目標を毎月計画を立てて追求する。

(ホ) 「不屈」紙上での経験交流、推進ニュースの発行。

(ヘ) 国会請願前に地元国会議員への事前の働きかけをすすめる。

② 全地方議会への陳情の請願を  
 (イ) 今日現在、三五〇市区町村議

会で採択・趣旨採択の成果をあげているがアンバランスが大きい。七府県では未採択となっている。意見書採択は、市町村住民の意思の表明になり、地元選出国会議員への影響を重視してとりくむ。

(ロ) 地方本部は、市町村議会での採択状況を宣伝し、国賠署名や同盟活動を励ます。

③ 国際交流と国連要請活動  
 第二次大戦終結六〇周年を記念して、日中、日韓、日ベトナム、日本キユーバなど国際友好団体と同盟

地方本部の共催でのアジア、中南米、社会主義をめざす国などとの国際交流が盛り上ってきている。また大会直後に予定されている第九回国連要請活動は福岡から十名派遣予定など準備がすすめられている。これらの活動を成功させ、同盟活動を世界に広げる。

(二) 先覚者を顕彰する活動

治安維持法弾圧で犠牲となった人々、戦後日本国憲法の土台を作ったこれら先覚者達の顕彰活動を力強くすすめる、憲法改悪許さぬ決意を固め広げる。

① 多喜二記念公演「早春の賦」、長編記録映画「時代を撃て・多喜二」の全国上映を成功させる。

② 恒例の多喜二祭、山宣祭、三一五、四・一六大弾圧記念集会、野呂栄太郎、相沢良、西田信春、飯島喜美、伊藤千代子などの記念集会、全国各地への歴史探訪、碑めぐりツアー、立命館大学平和ミュージアム・治安維持法資料館見学などを成功させる。

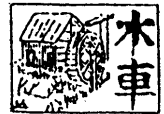
③ 治安維持法犠牲者名簿を全都道府県が作成するため調査発掘の体制を強める。

④ 「戦後の特高官像」を全国的に普及し、「不屈」連載の「顕彰碑探訪」、「抵抗の群像」などの単行本化をすすめる、各地方の先覚者の伝記などを出版する。

⑤ 特に治安維持法問題シンポ、憲法学習会などを開き、「治安維持法と現代」、「全国女性交流集会報告集」などをテキストにした学習を強める。

(三) 一万六千人同盟会員拡大を  
 第32回全国大会までに

① 昨年七月中央理事会で一万六千人めざす同盟員拡大運動が提



「換骨奪胎」とは身をすり替え手法をまねる、文字上の思むべき作法。地震や津波の内外の大災害

にかくれがちですが、拉致家族二人の「にせ遺骨」問題が未解決。事態改善の兆すらみえせん。無法な拉致の拳句の果てに「にせ遺骨」とあつてはだれもが怒り心頭。北朝鮮は即刻善処しないかぎり、「ならず者国家」の汚名は拭えません。「にせ遺骨」といえば八二年も前の「亀戸事件」を連想しました。川合義虎共産青年同盟委員長や労働作家平沢計七等十名活動的な労働運動家が亀戸警察署内で惨殺された事件。関東大震災のバニツク状況のなか朝鮮人・中国人大量虐殺と大杉栄一家殺しとならば軍隊と警察による国家テロで、事件が発覚「遺体返せ」と亀戸署に押し寄せた遺族の前に並べられたのが九体の「にせ遺骨」。警察は急拠荒川土堤に埋めた大量の朝鮮人の遺骨の中から適当に掘り返し、つじつまを合せたのです。重ねがさねの人権侵害に遺族は受取りを拒否、今日もなお遺骨は還っていない。(元)

起されて以来、会員拡大の努力が各地で始められている。

福岡の大牟田支部は二名から五人へと会員を拡大し、年末までには一〇〇人をめざしている。兵庫の女性会員Aさんは毎月一人を拡大し四五人の成果をあげている。和歌山県本部は拡大月間で一人を拡大し、岐阜では女性学習会で五人の女性会員を増やしている。大阪府本部は昨年の大会後、年間で一七〇人を拡大し、死亡者退会者を差し引いても一四一人の純

### 中央理事会の発言から

理事会では二人が発言。中央本部の「提案と報告」に賛成する立場から、情勢をどう攻勢的にとらえるか、またそれぞれの地域の課題の推進状況を分析し、実現に向けて奮闘する決意が述べられました。紙数の都合で一二氏の発言(要旨)を掲載します。 編集部

地震被害への見舞い  
有難うございました

新潟 鈴木 良枝

新潟県中越地震の被災同盟員にたいし貴重なお見舞いをいただき、激励にたいして厚くお礼申し上げます。死亡四〇名、負傷者二

増となる成果をあげている。

また、全国女性交流集会などに励まされて、女性同盟員が署名や拡大の先頭に立ちつつあります。同盟活動を本格的に推進していく上で、戦争を知らない六〇歳以下の世代の中に、顕彰活動、教育学習活動とも結びつけて会員拡大をすすめる。

②このため、会員拡大自主目標達成の計画を立て、対象者名簿をあげて追求する。

③国会請願署名に協力してくれ

六四一名、被災家屋一万六〇七九棟という大災害で、いま一歩を越す積雪で雪解けによる被害拡大の危険があります。

同盟課題で「地震があつたから後退した」と言い訳しないよう頑張つていきたい。全国からのご支援ありがとうございます。

国連での活動が  
一歩々々前進

中央本部 齋藤 久枝

昨年の国連要請行動には20名が参加し、国連内でのブリーフィング、ジャパンデーには一九カ国五四名の外国NGOを含め約一〇〇名が参加し、治安維持法を略称で言うまでになった。国連内で同盟の理解者が増え、一歩一歩すすんでいる。

人々に入会を訴える。福岡での創意に学び、「しんぶん赤旗」日刊紙、同日曜版読者、民主諸団体メンバーなどに入会と署名のお願いピラを入れ働きかける。

④県本部、支部の再建、新支部の建設に努力し、本部、支部の三役、事務局の若返りをはかる。

⑤東京都議選での勝利のために力をつくす

(五)治安維持法犠牲者、石川さだのさん(山梨)の名誉回復を要求し全国から甲府市長に抗議を集中する

今年の国際活動にはアメリカの動きがでてくると考えられる。今年の要請行動には福岡県本部のような力強いとりくみがあるが、各県本部からの参加を期待している。

石川さだのさんの  
名誉回復めざし運動

山梨 広嶋喜栄司

治安維持法違反による逮捕・拘留を理由に一九四二年に甲府市役

### 要賠償国家者控



所を不当解雇された石川さだの県女性部長に、日弁連が甲府市長に「名誉回復措置」を勧告した。これにたいし市長は昨年12月21日「空襲で焼失し職員であった事実も定かでない」として拒否した。ところが解雇通知書が人事課にあることが判明。1月14日に「治安維持法事件・石川さんを励ます会」を結成、市長にたいし「措置」

実現の交渉のつづけている。石川さんはこの3月に90歳になられ、現在は病氣療養している。九条守る運動とも連帯して引続きたたかつていきたい。(写真・石川さだのさんの解雇通知をかがけて発言する広嶋氏)

秋田県同盟結成

15周年の到達と教訓

秋田 近江谷昭二郎

2月10日は同盟秋田県本部結成15周年。一五年の歩みの到達と教訓について述べたい。

第一は、政治反動に抗してたたかってきたこと。抗議文など五〇余件を採択、宣伝してきた。

第二は、同盟運動の新局面を切り開いてきた。全市町村意見書採択で署名断るところがなくなり、目標を引き上げて挑戦してきた。

第三は、支部主催の募参会、偲ぶ会、歴史散策などをおこな

い、署名・会員拡大と結びつけてきた。

第四は、一五年を支えてきたのは学習の力。取り上げたテーマは四二件、一四一回の学習会をもち、学びたかたってきた。

「出会い、学び、楽しさ」  
大会後一四一名を拡大

大阪 塩田 一行

大阪府本部は、柳河瀬新会長のもとに私が新事務局次長に推され、活動の幅を広げて頑張っている。毎週水曜日に三役会議、毎月曜日に事務局会議を開いている。治安維持法と現代」をテキストに内容の濃い学習会を開き、「出会い!! 学び!! 楽しさ!!」をモットーにうって出て、府本部大会後、会員拡大にも力を入れ、半年間で差引き一四一人の会員を拡大した。

全県的な活動前進へ  
多面的な活動前進へ

福岡 橋本 幸夫

諫山さんの遺志をついで角銅新会長を中心に理事会は団結を固め、二万署名、四五〇会員が当面の目標。専門委員会を設け推進ニュースを発行、全県的な活動前進をめざしている。大牟田では一年前に結成して現在七〇名、年内一〇〇名目標に牽引車の役割を果たしている。五月国会請願、夏の国連ツアーに各一〇名を予定している。

憲法署名と同盟  
署名を統一して推進

長野 米山 順夫

「憲法九条を守る会」が一八地域一三職場で結成され、三八地域で準備中。国賠署名は憲法署名と一しよにすすめている。

戦後六〇年。満蒙開拓義勇団には長野からもっとも多く徴集された。実相を調査し戦争犠牲の歴史の体験として語りつぎ広めていきたい。今年はまだ伊藤千代子生誕一〇〇年。記念集会を成功をめざす。

清水寺門前の署名  
に観光客が応じる

京都 岡本 康

歴史の真実や正しい歴史認識の継承者として、資料の発掘や語り部の役割を果たすべき。たとえば京都出身の一五年戦争の戦死者数は五万四千人。この数からすると、日本人犠牲者公称三一〇万人は少なすぎるのではないか。

仏教会へ手紙を送り署名への協力を求め、清水寺の門前で一月から五月まで署名をする諒解を得て、一月行動では来日の韓国観光団がどっと署名してくれた。

立命館大の国際平和ミュージアムで、制定八〇年廃止六〇年を記念して、「治安維持法展」を開催する予定。

女性集会報告集、まず幹部が読みテキストに

神奈川 蓮見 孝子

第15回女性交流集会には29都道府県から六七名が参加し、沖縄県から瀬長亀次郎さんの娘さんが初めて参加された。

その報告集ができあがった。根本孔衛弁護士講演全文が収録されている。この論文は治安維持法の生い立ち、役割を国際的な視点から理論的に解明している。松崎濱子さん、二人の遺族の報告も載っている。

まず報告集を幹部が読み学習のテキストとして活用してほしい。ピラまき弾圧に

断固として反撃

東京 針谷 宏一

東京立川の自衛隊官舎へのピラまき無罪判決が出た翌日、東京葛飾でマンションピラまき逮捕事件が起きた。月島での公務員ピラまき弾圧事件と合せて、東京で集中的に弾圧事件が起きている。

都議選に向けて共産党と支持者の運動の足をとめようとする不法な政治弾圧。葛飾の場合、節度をもって「区議団ニュース」を配っていた僧侶で、警察は年末年始を通じて拘留しつづけた。きわめて露骨な弾圧で、広く市民の共感を得て、国民の知る権利と表現

の自由、政治活動の自由の問題として、たたかっている。

右翼的イデオロギー  
との対決、同盟の役割

宮城 大沼 耕二

同盟の役割は右翼的イデオロギーとどうたたかうかが重要。ピラ配り弾圧なども、戦争する国づくりの動きのなかで出てきてるといふ認識が大事だ。

読売新聞の新年社説で、平和憲法を守れなどというのは戦後の幻想であり、中東は日本経済の生命线とまで言って、戦後からの脱却を主張している。

こういふことがふりまかれていることに、同盟は敏感に立ち向かい、学習し宣伝し粉碎していくことが大事だ。

■書籍販売が盛況■

休憩時間には書籍売り場はごった返し。『第15回全国女性交流集会報告集』を多くの参加者が購入。同盟員の著書も柳河瀬精大阪府本部会長の『戦後の特高官僚』、福島県本部編の『犠牲者名簿』、富山県本部の小森修氏編『大沢野村小作争議』など、弾圧の歴史を掘り起こした労作が並んだ。同盟員の学習意欲の高まりが感じられた。(S)

顕彰碑

新潟県長岡市

綴方教育の寒川道夫と

教え子・大関松三郎の顕彰碑

太平洋戦争の直前に治安維持法違反で検挙・拷問をうけた寒川道夫(一九〇九 七七)と教え子の少年詩人・大関松三郎(一九二六 四四)を顕彰する碑が、長岡市の松三郎の生家の本人墓碑隣に建立され、〇四年九月二十三日、建立記念の集いが同市下々条公民館でおこなわれました。ゆかりの人や同盟員有志など一五二人が参加しました。寒川道夫は四一年十一月二十五日、黒糸小学校の宿直室から、また妻のとみ子先生は自宅から警察に連行されました。二歳に満たない娘・民子と子守りだけが自宅に残されました。



顕彰碑の正面には「前へなら進むノどれほど荷物(荷物)が重かるうと・松三郎」の詩「馬」の一節、裏面には「いさぎよく人を殺せと教うるを教育とせじ口くさるとも」の寒川の短歌が刻まれています。顕彰碑除幕に先立ち、映画「恙虫記」の上映、松三郎の詩三編が朗読されました。映画は寒川の教育実践がきっかけで制作されたもので、村人の恙虫病の苦しみと撲滅研究に没頭するH博士を撮ったもの。太平洋戦争直前に上映予定でしたが、映画の中に検挙された寒川が登場していることから急遽上映禁止に。以後地下に埋もれ、幻の映画」とされた。

集いに参加したある男性(60才)「戦争で一番悪かったのは天皇だったのだからかろう」と自問自答していました。(長岡支部 加藤栄二)

時の焦点

改憲策動と一体の教育基本法改悪の動きが急迫しています。こうした中で、「日の丸・君が代強制」の石原知事に続いて、埼玉県上田知事が事もあろうに、「新しい歴史教科書をつくる会」の元副会長高橋史朗氏(同教科書監修者)を、県内外の多くの反対・批判を押し切って県教育委員に任命しました。「教科書監修者に採択権限をもたせてよいのか」、「教育委員会の中立性を損う」などの批判にまともにも答えず昨年十二月県議会で強行したのです。

「つくる会」元副会長を県教育委員に！ 埼玉・上田知事の暴挙

この事に力を得て、「新しい歴史教科書をつくる会」等が埼玉県下では勿論、全国的に自分たちの「教科書」(歴史・公民)の大量採択の策動をつよめてくることや、自民党などが教育委員人事に介入して行くことは必定です。この公民教科書を同知事は「きわめて新しい試み」と評価し、「いままでの教科書は自虐的な史観」などとののしつてきました。今年夏の中学校教科書採択を前にして、「この暴挙に出たものです。これは「教育は不当な支配に服することなく……」との教育基本法10条、教育委員は、自己の従事する業務に直接利害関係のある事件については、その議事に関与することができない」との地方教育行政の組織及び運営に関する法律13条を真向から踏みについた行為であることは明白です。

「(住民投票の問題点)、国家全体から見れば、その一部にすぎない特定地域の住民の意思によつて国策に『ノー』が突きつけられることになると、国家は機能しなくなる。」(公民) 戦時中の国史かと思つづばかりの歴史教科書、憲法の理念を敵視

今夏の教科書採択を前に、同盟はもちろん教職員、父母、市民が地域で、力を合わせて、これらの教科書「批判、戦前・戦後の教科書の歴史、指導要領の変遷等についての学習活動をつよめることが、緊急の課題となっています。(巽)

## 抵抗の群像

### 戦時下京都留学中に弾圧をうけ

### 獄死した尹東柱

ユンドンジュ



延禧のソウル  
専門学校の  
時代の尹東柱

平沢 直義

なっています。

日本への留学から逮捕

一九四二年の春、はじめ彼は東京の立教大学文学部に籍を置きますが一学期間在学しただけで秋には京都の同志社大学へ移っています。東京でひとり仲間もない生活に耐えられなかったのでしょうか。彼のいとこに当る宋夢奎(ソウモンギユ)は尹東柱より少し早生まれですが同年齢で、小・中・専と学校も同じ、このときは京大に在学していました。しかも後に同じ治安維持法違反で逮捕され同じ刑務所に送られ、ほぼ同時期に獄死しています。

謎とされています。

尹東柱の死後三年、一九四八年に韓国で初めて詩集が刊行され、

声価を高めて国民詩人といわれるようになり、韓国の国語の教科書にも掲載されているということですが、また延世大学(前の延禧専門学校)には詩碑が建立されました。今年はその没後六〇周年に当たりますが、日本でも八〇年代から詩集や研究書が刊行された他、京都の同志社大学今出川キャンパスには詩碑が建っています。

尹東柱全詩集、空と風と星と詩、伊吹郷訳、影書房刊、九四年刊行を著書としてご紹介しておきましょう。

なお、同盟の京都府本部理事の岡本康氏に資料の提供を受けました。紙上を借りお礼申し上げます。(東京都本部理事)

獄死とその後の尹東柱

一九四四年三月に二年の刑期の判決をうけて、宋夢奎とともに福岡の刑務所に送られた尹東柱は、

戦争の終結の僅か六ヶ月前の一九四五年二月十六日に獄死しまし

韓国の国民詩人

韓国で国民詩人、抵抗の詩人といわれる尹東柱は治安維持法の犠牲者でした。温厚な性格から生まれたその詩からは「抵抗詩人」と呼ぶのをためらう人も韓国でもある抒情詩人です。一方、彼を抵抗詩人とする見方は、植民地支配のもとでの朝鮮人同化政策の神社参拝強制、創氏改名、日本語使用の強制に対し、ハンゲルで詩作を通じたなどの受難と抵抗の生涯を根拠にしています。

尹東柱の生いたち

尹東柱は一九一七年十二月三十

日(中国の北間島(ブツカンド)現在の中華人民共和国吉林省延辺朝鮮族自治州で、学校教師を父として生まれました。一家は曾祖父の代からのキリスト教徒で彼も生涯キリスト者でした。

彼が詩作を始めるのは一九三四年十七歳のときですが、十八歳でピョンヤンの崇実中学校に転校した翌年に神社参拝拒否問題が起これ、神社参拝を拒否して罷免された校長に共鳴して退学して郷里の光明中学校に戻ってしまつたという事件がありました。

中学校卒業後はソウルの延禧(ヨンヒ)専門学校に進み、ここを卒業して日本に留学するときに創氏改名の迫書をつけました。日本への渡航証明書が日本名でないを通らないからです。平沼という姓をつけ、平沼東柱という日本名に

同盟歌壇

碓田のぼる選

新潟県 加茂川ハル子
「戦争が始まったかの」と老婆問う被災地へ飛ぶヘリコプターの音
入院中夜中徘徊せし兄は一時帰宅しおだやかに寝る

「評」一首目、ヘリコプターの轟音が読後に残り、被災直後のま
さに戦争のような緊迫感をもった雰囲気を感じられる。二首目、人
間は生い育った家にこそ、心底やすらぐのかとの思いがある。

静岡県 江川 佐一
佐鳴湖の迷いし子リス箆にきてどんぐりかくすしぐさするなり
再建はもはや望めず山古志村の友の実家は傾きて立つ

「評」一首目原作の結句は、しぐさするらしであった。この歌、
いかにも童話の世界を思わせる内容とリズムで、ほほえましい。二
首目、下句は、被災地の一現実を結句でよくとらえている。

東京都 若林 義文
大津波に逃げ場なき人の映されてやりきれなさに声あげるなり
九条の改悪ねらう動きあるも世界世論に頓挫するなり

「評」人が津波にのまれていくさまを映像に見ながら、作者は声
をあげ、息をのむ様である。二首目は、「頓挫するなり」と歌いつ
つ、世界の世論もいつそう強まってほしいと九条守る願い。

東京都 山崎 元
戦争はエスカレートする矛と盾「備えあれば」は天災にこそ
「評」「備えあれば憂いなし」などと言いながら、戦争準備への
道を進む矛盾を鋭くついでているのである。

著者は教師として民主教育運動
に献身された後、日本共産党の大
阪府議会議員を四期務められ、ま
た草の根の民衆の苦難の闘争を発
掘して健筆を揮ってこられた同盟
大阪府本部の会長です。

表題の著書は、一九四五年の侵
略戦争の敗戦による治安維持法廃
止後も、対ソ、对中国包囲網の中心
となったアメリカ帝国主義の庇護
のもとで、生き残った天皇
制擁護勢力の一翼になつ
た特高警察官僚が、日本国
憲法の反戦・平和、国民主権
と自由と民主主
義を空洞化さ
せ、日本独占資
本の復活強化の
ために、如何に
私たちの身近な国と地方の
政治・行政の場で活動して
きたかを、各人物の経歴を
克明に追跡して明らかにし
ています。「治安維持法体制は、現
在も生きている」と私たちは告発
してきましたが、私たちが中央政
界と警備公安警察と自衛隊にだけ
目が向きかねないところを、著者
は特高官僚たちが都道府県や政令
市の行政の中枢に食いこんで住民
自治を蹂躪し、地方自治体を独占
資本の道具にするためにも暗躍し
てきたことをも告発しています。

書棚

『戦後の特高官僚』

柳河瀬 精著

日本機関紙出版センター発行 定価1800円

治安維持法の「弾圧」の柱であ
つた「国体の変革（万世一系の絶
対主義的天皇制政治体制を民主共
和制に変える）」と、「私有財産制
度を否認（財閥・独占資本と半封
建的地主階級の横暴を民主的に規
制する）」を、敗戦後の特高官僚
たちは、日米安保体制の拡大強化
という「国体」とこれを支える日
米独占資本の横暴支配という「私
有財産制度」にイデオロギ
ー的な改変をして、この支
配の強化のために天皇制賛
美の復古思想をも動員して
きたことが、本書を読むと
よくわかります。

ネオコン（新保守主義）
を標榜して日本独占資本の
多国籍企業化の推進を図る
自民党の政治家たちが靖国
参拝を強行し、憲法九条は
かりか憲法一条の国民主権
条項や二四条のジェンダー
・フリー条項、一三条の幸福追求
権を「改悪」しようとするのも、
彼らが「特高官僚たち」の活動の
伝統を受け継いでいることを表わ
しているのです。
憲法改悪が焦眉の課題となつて
いる今日、改憲勢力の根つこの部
分を理解する上で、是非とも薦
めたい良書です。

(増本一彦・中央本部副会長)

### 記録映画「時代を撃て・多喜二」監督 池田博穂

小林多喜二の新しい文学と社会を求めた壮絶な生涯を、生誕一〇〇年・没後七〇年を経て浮かびあがる新事実をたどり、激動の昭和初頭を生きた多喜二のひたむきな青春のドキュメンタリーです。製作に当たった監督は「何よりも面白い映画を、との思いでシナリオ

「もっと生きたかった、もっと書きたかった」

書き、撮影してきたけど予定以上に面白い映画になりそうです」と語っています。

完成試写 東京 二月二日 横浜 二月八日 札幌 二月八日 三月上映予定 小樽 二月二六日 三月中旬 神奈川・伊勢原

詳しくは左記へ

〒一〇二〇〇七四 東京都千代田区九段四 六一  
 九段シルバーパレス九〇四 (有)文エンタープライズ内  
 映画「時代を撃て・多喜二」製作委員会  
 ☎・FAX〇三 五二二二 一三八三

### お知らせとお礼

一月二十日の中央理事会での左記のご協力ありがとうございました。

東京でのマンシヨンピラ配布に対する不当弾圧に対する署名五十六筆、カンパ三万七千二百八十円。引き続きご支援を全国に広げていただけますようよろしくお願い致します。

インド洋津波災害救援募金二万円、ユニセフに送りました。

### 訂正

#### 新年号年賀広告

長野県の部、「長野山宣会会長新井俊信」の会長名が誤っていました。正しくは、「荒井俊信」です。

新潟県の部、「山村洋二郎法律事務所」の事務所名が誤っていました。正しくは、「中村洋二郎法律事務所」です。

兵庫県の部、「日本共産党尼崎市議会議員団」の〇六 六四八 六四八九の電話番号が誤っていました。正しくは、〇六 六四八九 六〇七〇です。「日本共産党芦屋市議会議員団」の表示が誤っていました。正しくは、「議員団」です。お詫びして訂正致します。

### 事務局日誌

12月16日	日本母親大会代表者会議に参加	1月11日	全労連会館新春昼食会に参加
12月17日	栃木県本部再建のオルグ	1月14日	3・8国際婦人デー実行委員会に参加
12月18日	葛飾古川苞墓参りに参加	1月18日	「不屈」2月号編集会議
12月24日	葛飾マンシヨンピラ配布不当弾圧に対し東京検察庁に抗議文送付	1月19日	中央三役会議
12月28日	松田解子さん通夜	1月20日	新春中央理事会
1月7日	全労連旗開きに参加	1月21日	5・3憲法集会実行委員会に参加
		1月24日	都本部理事会に参加
		1月25日	日本人権委員会に参加
		1月28日	3・8国際婦人デー実行委員会に参加
		1月31日	「不屈」2月号編集作業

### 地方議会意見書採択

福島県霊山町議会は十二月の議

会で、「政府に対し、治安維持法犠牲者に謝罪と賠償を要求する」意見書を満場一致で決議し採択しました。

●学習のテキストに、女性部運動の発展の糧に！

## 第15回 全国女性交流会報告集



本号のメインは根本孔衛弁護士の講演『治安維持法を歴史と国際的視点から考える』 悪法・治安維持法の生い立ちから暴虐の限りをつくした運用、侵略戦争への突入、戦後冷戦下の戦後処理と現在進行している裁判闘争までを詳述。同盟運動の理念を学ぶ最適な教材。犠牲者の証言と遺族の発言、各地の女性部運動の報告・討論を収録。

B5版・114頁、定価1000円、各県本部でお求めください。

企画・編集 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟女性部